

平河町通信

令和5年
7月1日号
第27号

発行
内外政治
研究G
代表 宮田修一

両陛下インドネシアご訪問 残留日本兵墓地にご参拝も

天皇皇后両陛下は6月17日から23日までインドネシアを訪問され、各地で熱烈な歓迎を受けられました。即位後初の外国への親善訪問でした。20日には大戦後のオランダとの独立戦争（1945年〜49年）で戦死した兵士などが埋葬される首都ジャカルタの「カリバタ英雄墓地」を参拝されました。ここには、独立戦争に加わった残留日本兵約30人も葬られており、両陛下は「日の丸」をイメージした赤と白の花輪を供花し黙祷されました。前日には残留日本兵の二世にもお会いになりました。

同国は戦時中、オランダの「東インド軍」が植民地として支配していましたが、進出した日本軍に降伏。日本の敗戦を受け、オランダは再び植民地化に乗り出し、これに建国の父として仰がれる初代大統領スカルノらが率いる独立義勇軍が抵



引用:AFP BB News

インドネシア首都ジャカルタのカリバタ英雄墓地で供花される天皇、皇后両陛下

抗。多くの犠牲を払って独立を勝ち取りました。この時にオランダ軍と戦った残留日本兵は3千人を上回り、このうち千人余が戦死、約千人は同国に残って帰化したと言われます。英雄墓地には平成20年（2008）に秋篠宮同妃両殿下が参拝され、安倍晋三元首相は在任中、二度訪れていました。

平成13年（2001）には、インドネシア独立戦争に関わった日本兵を描いた『ムルデカ 17805』という映画が両国で公開されています。

LGBT法施行

「女性を守る議員連盟」に百人結集

左派の「差別を許さない法運用」に警戒を！

いわゆるLGBT法が成立し、6月23日に施行されました。結果を急いだ岸田首相の非は責められるべきですが、教育現場では以前から性差を否定する教育が公然と行われ、女性専用トイレのなど、既にジェンダリズム（性自認至上主義）がはびこっています。「性自認」を何のためらいもなく使っている自治体も存在します。左派の活動家らが成立を受けて「差別を許さない法律の運用」を掲げて動いている現実からも目を逸らすわけにはいきません。

地方議員や一般国民も「議連」参加へ

起人代表には、参議院議員の世耕弘成、橋本聖子、片山さつき氏の3氏が就任、100人の国会議員が加わる予定です。規約では、地方議会の議員も「会員」とし、自治体の長や有識者を「特別会員」、一般国民を「賛助会員」とすることが決まっております。募集方法などが検討されています。維新や国民民主を含む各党にも働きかけるべきとの意見も出ています。

「女子スポーツの公平性確保」も課題

LGBT法は、理念法だと言いつつも自治体や学校などに「努力義務」を課す一方、マジョリテイの女性の不安には応えていません。活動家は「ジェンダー女性性だ」と言って憚らず、男性器を持つ「トランスジェンダー女性」が女性トイレや女湯などを使う不安はぬぐえません。各国ではトランスジェンダー女性が女子スポーツに参加して公平性が阻害される問題が起きていますが、日本でも、やがて深刻な事態を招きかねません。学校での過激な性差否定教育も今は野放し状態です。

政府の基本計画や指針策定に積極提言へ

こうした現状を踏まえ、議連は政府が策定する基本計画や指針（ガイドライン）に積極的にコミットし、新たな法律の制定や「政令・省令・告示」に関する提言を行うことにしており、設立総会には文科省や厚労省、外交省などの担当者を呼びました。「女性スペースを守る会」の滝本太郎弁護士が「女性スペースに関する法律」と「女子スポーツに関する法律」の私案を提示して注目されました。



性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解に関する法律(全文)



「女性スペースを守る会」の滝本太郎弁護士による法律の私案